

対応をするのは 生徒の前にいる「あなた」です！

# 危機管理マニュアル

— 組織として 迅速かつ的確な対応を —



令和6年4月

久喜市立久喜中学校

# はじめに

「志に生きる久喜中学校」は、学校教育目標を達成するために、生徒が安心して学ぶことができる安全な場所でなければなりません。しかし、事件・事故や災害はいつ、どのような形で、誰に起こりうるか予想することが困難な場合があります。そこで、適切な対策を取ることによって、危機的な状況の発生を防止したり、発生時の被害を低減したりする必要があります。

東京都調布市において、平成24年12月に食物アレルギーによるアナフィラキシー・ショックにより死亡事故が発生しましたが、その検証結果報告書では、事故の背景として、教職員全員による情報共有が十分でなかったこと、事故前に校内研修が実施されていたとはいえ、研修に対する取組姿勢と危機管理意識の欠如があったことが指摘されています。

本マニュアルは、すべての教職員が組織の一員として迅速かつ的確な対応を確実に行うことができるよう、基本的な行動パターンに絞って簡潔に示しました。常に身近に置き、目にすることができるようになるとともに、機会あるごとに内容を確認し、いつでも行動に移すことができるようにしておくことが大切です。

久喜中学校の教職員一人一人が「生徒の生命を守るのは、目の前にいる私の役目」との自覚を常に心に抱き、日々の職務を遂行してくれることを願っています。

生徒の生命を守るのは  
「あなた」です！



# も く じ

○ はじめに .....	2
○ もくじ .....	3
第1章 危機管理の基礎知識 .....	4
1 危機管理の定義 .....	4
2 危機管理の必要性 .....	4
3 危機管理の目的 .....	4
4 危機管理のプロセス .....	4
5 危機管理の領域 .....	5
6 避難訓練の意義 .....	6
7 危機管理体制 .....	6
第2章 基本対応 .....	7
1 平常時の対応（未然防止） .....	7
2 緊急事態発生時の対応 .....	8
3 事後の対応（中・長期的） .....	9
第3章 緊急事態発生時の対応 .....	10
1 緊急対応体制（一般例） .....	10
2 地震 .....	11
3 火災 .....	12
4 不審者 .....	13
5 爆破予告 .....	14
6 自然災害 一大雨（台風）・大雪・雷・竜巻（突風）・洪水ー .....	15
7 教育活動中の事故（怪我・熱中症・脱水症） .....	16
8 食物アレルギー、アナフィラキシー・ショック .....	17
第4章 その他 .....	18
1 AED .....	18
2 心配蘇生（胸骨圧迫） .....	19
3 エピペン .....	20
4 救急車の要請 .....	21
5 基本的な避難経路 .....	22
○ 緊急連絡先等・時間外の教職員間の連絡 .....	23

# 第1章 危機管理の基礎知識

## 1 危機管理の定義

学校教育に関して生じうる事件や事故そのものを防止し、あるいはその被害を最小限に食い止めるための措置（予防的措置）及び生じてしまった事件や事故に対する適切かつ迅速な対処を指します。

## 2 危機管理の必要性

学校は、生徒が安心して学ぶことができる安全な場所でなければなりません。しかし、事件・事故や災害はいつ、どのような形で、誰に起こりうるか予想することが困難な場合があります。そこで、適切な対策をすることによって、危機的な状況の発生を防止したり、発生時の被害を低減したりする必要があります。

## 3 危機管理の目的

学校における危機管理の目的は、次の3点です。

- 生徒と教師の生命を守ること。
- 事件・事故の管理を適切に行い、生徒と教師の信頼関係を維持し、強めること。
- 教育活動の正常な運営を行い、学校に対する社会的信用や信頼を得ること。

## 4 危機管理のプロセス

危機管理には、次の4つのプロセスがあります。



## 1 リスク・マネジメント（事前の危機管理）

- (1) 危機の予知 … 危機的状況が起こる可能性を予知しておくこと  
過去に発生した自校や他校の事例から、その危機発生の原因や経過等を分析・検討することにより、発生の前兆等を明らかにし、危機の予知・予測に努めます。
- (2) 危機の回避 … 危機的状況が起こる前に最大限の努力をすること  
日常的な生徒への継続的な支援や、施設・設備に関する定期的な点検や各種訓練等により、未然防止に向けた取組を行います。また、各方面からの情報収集等により、問題の早期発見に努め、危機に至る前に解決します。さらに、保護者や地域住民、関係機関・団体等との連携を図り、学校独自の危機管理体制を構築します。

## 2 クライシス・マネジメント（事後の危機管理）

- (1) 危機への対処 … 対応の仕方や役割分担等を日ごろより周知しておくこと  
緊急事態が発生した場合、学校の危機管理マニュアルに沿って、適切かつ迅速に対処し、生徒や教職員の生命や身体の安全を守るとともに、被害を最小限に止めます。
- (2) 危機の再発防止 … 再発防止に万全を期すること  
保護者及び市教委等関係者への報告・説明を速やかに行ないます。緊急事態発生時の対応を事態収拾後に総括し、教育再開の準備や再発防止対策、心のケアなど必要な対策を講じる。そして、未然防止の取組について定期的に評価・改善し、日々の教育活動の充実に努める。

## 5 危機管理の領域

- 自然災害 …………… 地震、火災、大雨（台風）、大雪、雷、竜巻（突風）、洪水
- 事件・事故 …………… 不審者侵入、爆破予告、教育活動中の事故、交通事故
- 疾病等 …………… 食物アレルギー、アナフィラキシー・ショック、感染症、薬品事故

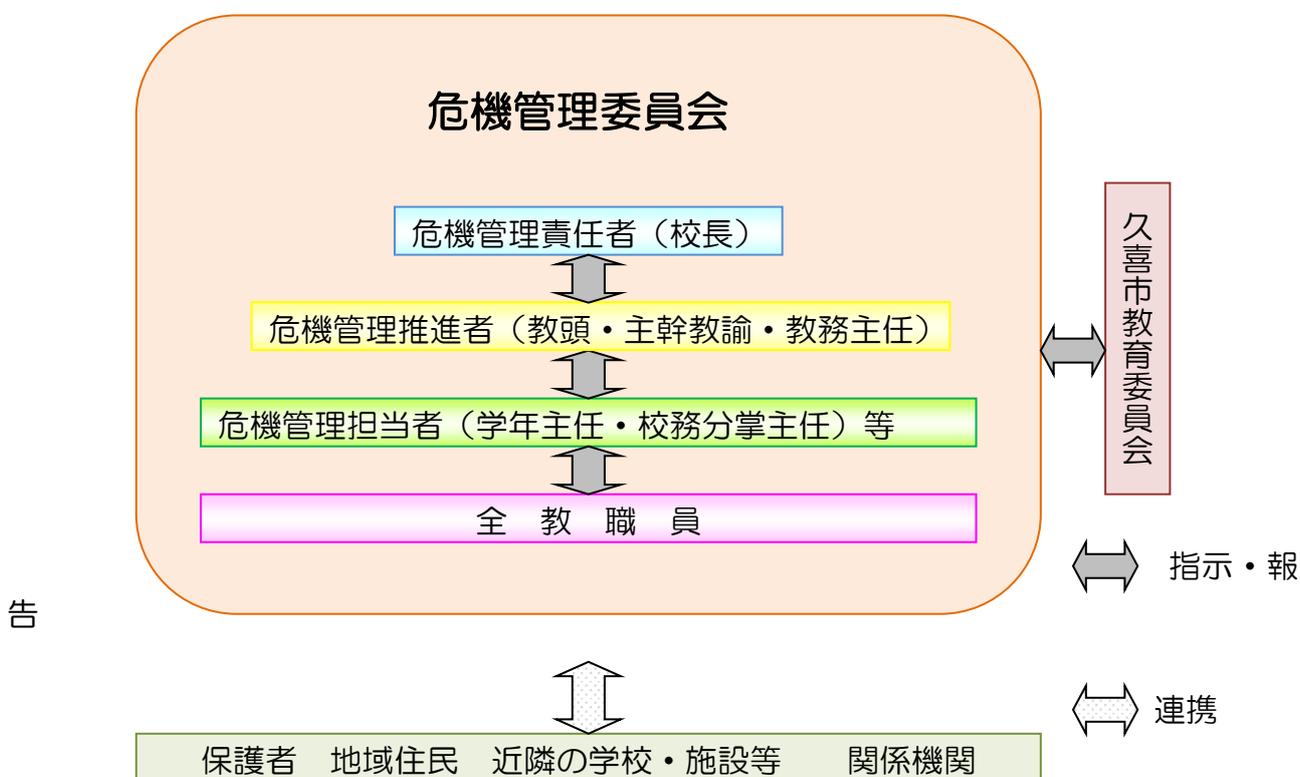
## 6 避難訓練の意義

避難訓練は、本マニュアルの内容を体得する（体で覚え、自然と行動に移すことができる力を身に付ける）上で、必要不可欠なものです。

- 生徒は、自ら自分や仲間の生命を守るための行動パターンを身に付ける。
- 教職員は、研修の場として、生徒の生命を確実に守るための誘導パターンを確認し身に付ける。

このことを十分踏まえ、生徒・教職員が高い意識をもって真剣に取り組むことができるよう、意図的・計画的に実施することが重要です。

## 7 危機管理体制

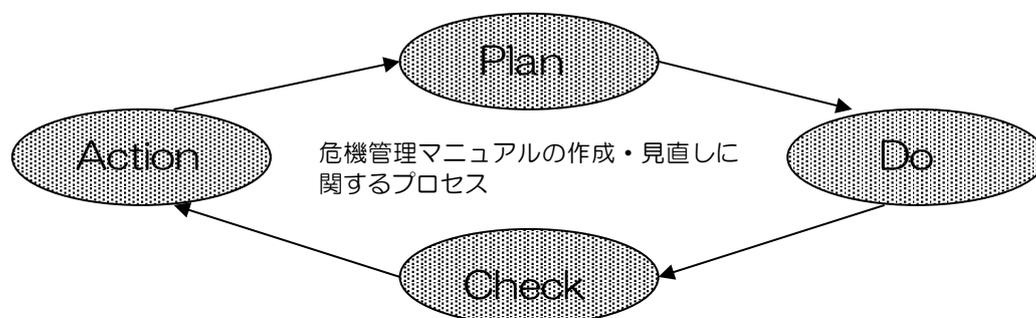


## 第2章 基本対応

### 1 平常時の対応（未然防止）

項目	具体的取組
安全教育の充実	<input type="checkbox"/> 「学校安全計画」に基づく、計画的な安全学習・安全指導の実施 <input type="checkbox"/> 安全マップ作成や危険予測学習（KYT）等、安全教育の充実による「危険予測・回避能力」の育成 <input type="checkbox"/> 生徒会活動など主体的な活動の充実 <input type="checkbox"/> 生徒指導、教育相談、進路指導の充実
安全管理の徹底	<input type="checkbox"/> 連絡メール等を活用した緊急連絡体制（保護者、病院等）の整備と周知 <input type="checkbox"/> 関係機関等との連絡連携体制の確立 <input type="checkbox"/> 定期的・日常的な安全点検の実施 <input type="checkbox"/> 不審者等の侵入防止、早期発見対策の確立 <input type="checkbox"/> 出欠、健康観察、保護者連携の確実な実施 <input type="checkbox"/> 施設管理や火気・薬品等の適正な扱い <input type="checkbox"/> 授業、部活動、学校行事等における安全確保 <input type="checkbox"/> 台風など自然災害等に関する速やかな情報収集
組織活動の推進 （含 職員研修）	<input type="checkbox"/> 教職員の意識の高揚と危機管理体制の確立 <input type="checkbox"/> 応急手当（心肺蘇生法、AED等）の研修 <input type="checkbox"/> 校務分掌会議等の開催 <input type="checkbox"/> 兆候事案等を共有し、事件等を抑止する整備体制など、保護者、関係機関、団体等との連携

#### PDCA サイクルによる確実な実践体制の整備



訓練や机上シミュレーション、研修等を実施し、危機管理マニュアルが組織的・総合的に機能するかを評価・検証の上、改善を繰り返して実効性を高める。

## 2 緊急事態発生時の対応

項目	具体的取組
発生源への緊急対応	<input type="checkbox"/> 気象情報の収集と早期対応 <input type="checkbox"/> 事件・事故災害の発生原因の早期除去 ・不審者の侵入阻止、火災の消化、施設等の不備の応急修理など
指揮総括 〔危機管理責任者〕 校長 〔危機管理推進者〕 教頭 主幹教諭・教務主任	<input type="checkbox"/> 事件・事故災害概要の迅速な把握 <input type="checkbox"/> 生徒や教職員の安全確認 <input type="checkbox"/> 情報収集（情報の一元化）と共有 <input type="checkbox"/> 危機管理委員会の立ち上げ <input type="checkbox"/> 教育委員会、警察、関係機関等への緊急通報、支援要請 <input type="checkbox"/> 的確な意思決定と指示 <input type="checkbox"/> 報道対応（窓口の一本化）
危機管理 〔危機管理担当者〕 校長 教頭 主幹教諭・教務主任 生徒指導主任 学年主任 安全教育主任 等 ↓ 全教職員	<input type="checkbox"/> 教職員への緊急連絡と召集 <input type="checkbox"/> 生徒の避難誘導と安全確保 ・生徒を発生源から遠ざけ、不安を軽減 ・安全確認、点呼 <input type="checkbox"/> 重要物品の搬出 <input type="checkbox"/> 警察官、救急隊員等を現場に誘導 <input type="checkbox"/> 保護者への緊急連絡 <input type="checkbox"/> 情報収集・整理、コメント作成（報道担当）
ケア対応 保健主事 養護教諭 学年主任 担任・副担任 教育相談主任 等	<input type="checkbox"/> 負傷者、ハイリスク生徒の迅速な把握 <input type="checkbox"/> 応急手当（心肺蘇生、AED） <input type="checkbox"/> 病院への搬送とアフターケア <input type="checkbox"/> 生徒の不安の軽減 <input type="checkbox"/> ケア計画の作成 <input type="checkbox"/> 専門家と連携した教育相談・カウンセリング等

緊急事案発生時には、危機管理マニュアルに想定していない状況も発生することがあるため、正確な情報収集に基づき、迅速かつ的確に判断し、トップダウンを基本に、全教職員が協働して危機に立ち向かう。

### 3 事後の対応（中・長期的対応）

項目	具体的取組
指揮総括 〔危機管理委員会〕	<input type="checkbox"/> 現状把握と分析 <input type="checkbox"/> 教育委員会、関係機関等との連携 <input type="checkbox"/> 各担当者に応じた適切な指示
危機管理 〔危機管理委員会〕	<b>■ 危機対応</b> <input type="checkbox"/> 情報を広く収集し、管理職に報告 <input type="checkbox"/> 保護者会、記者発表等の企画・運営 <input type="checkbox"/> 遺族や被害者への対応 <input type="checkbox"/> 通知文、学校だより等の作成・配布 <input type="checkbox"/> 記録、報告書等の作成
	<b>■ 再発防止策の確立</b> <input type="checkbox"/> 事件・事故災害の発生要因の把握、問題点等の整理 <input type="checkbox"/> 安全性の評価と改善 <input type="checkbox"/> 安全対策の確立 ・安全パトロール ・施設設備等の改善 ・安全教育の見直し <input type="checkbox"/> 保護者、関係機関、地域等との連携強化 <input type="checkbox"/> 「危機管理マニュアル」「学校安全計画」「防災計画」等の見直しと改善
	<b>■ 学校再開の準備</b> <input type="checkbox"/> 生徒の現状把握 <input type="checkbox"/> 保護者、地域等の願いや考え等の把握 <input type="checkbox"/> 実態に応じた指導計画の作成 <input type="checkbox"/> 授業等に必要な場所等の確保、指導体制の整備
ケア対応 保健主事 養護教諭 学年主任 担任・副担任 教育相談主任 等	<input type="checkbox"/> 負傷者の状況経過把握 <input type="checkbox"/> 学校医、医療機関等との連携 <input type="checkbox"/> 心のケアの継続 <input type="checkbox"/> 災害共済給付等の事務

事件・事故災害の収束後、直ちに対応状況を総括する会議を開催する。そして、問題点を明確に整理し、再発防止に向け改善点を明らかにして、再発防止策を講じる。同時に、危機管理マニュアル、学校安全計画・防災計画を見直し、改善を図る。

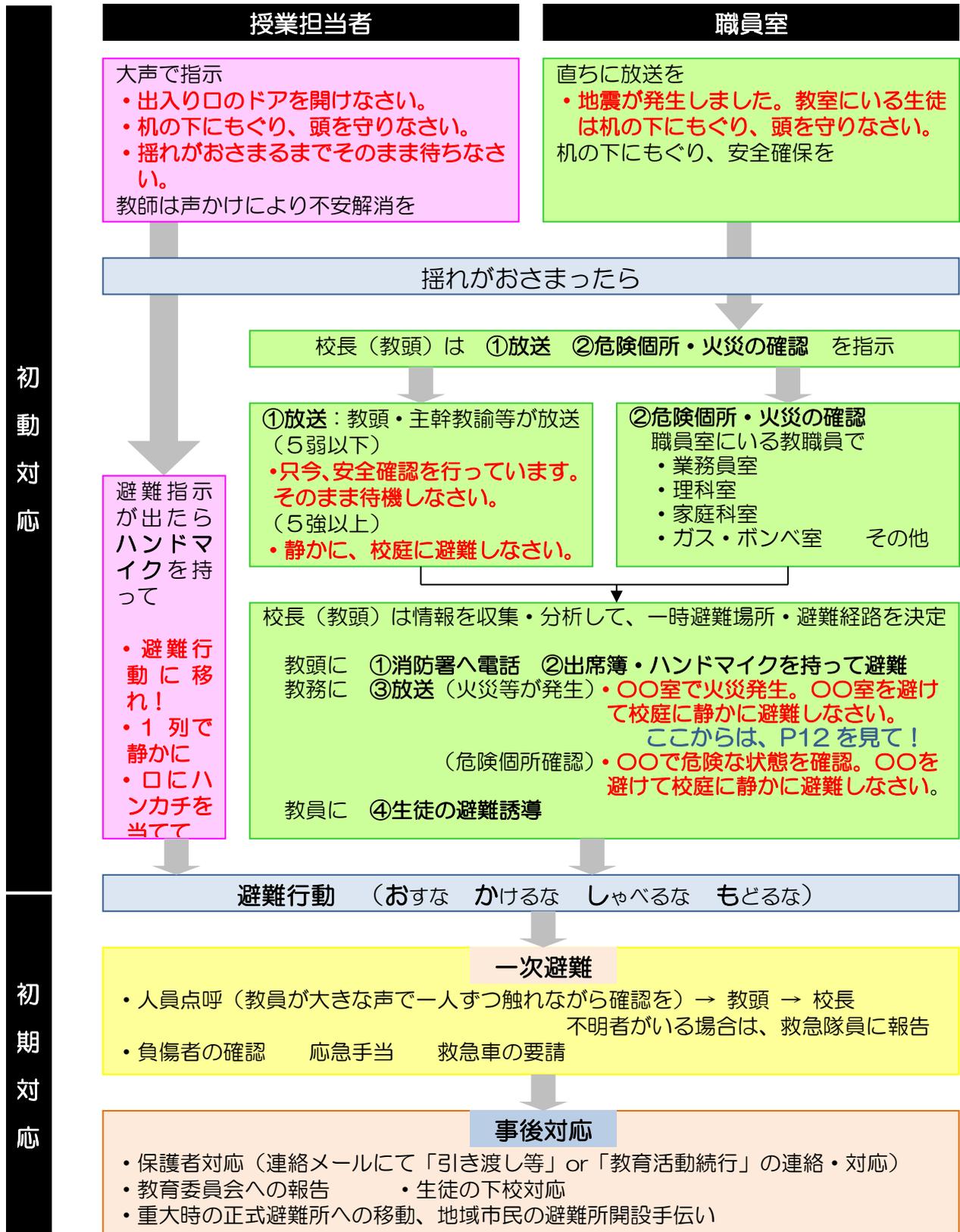
# 第3章 緊急事態発生時における対応

## 1 緊急対応体制（一般例）



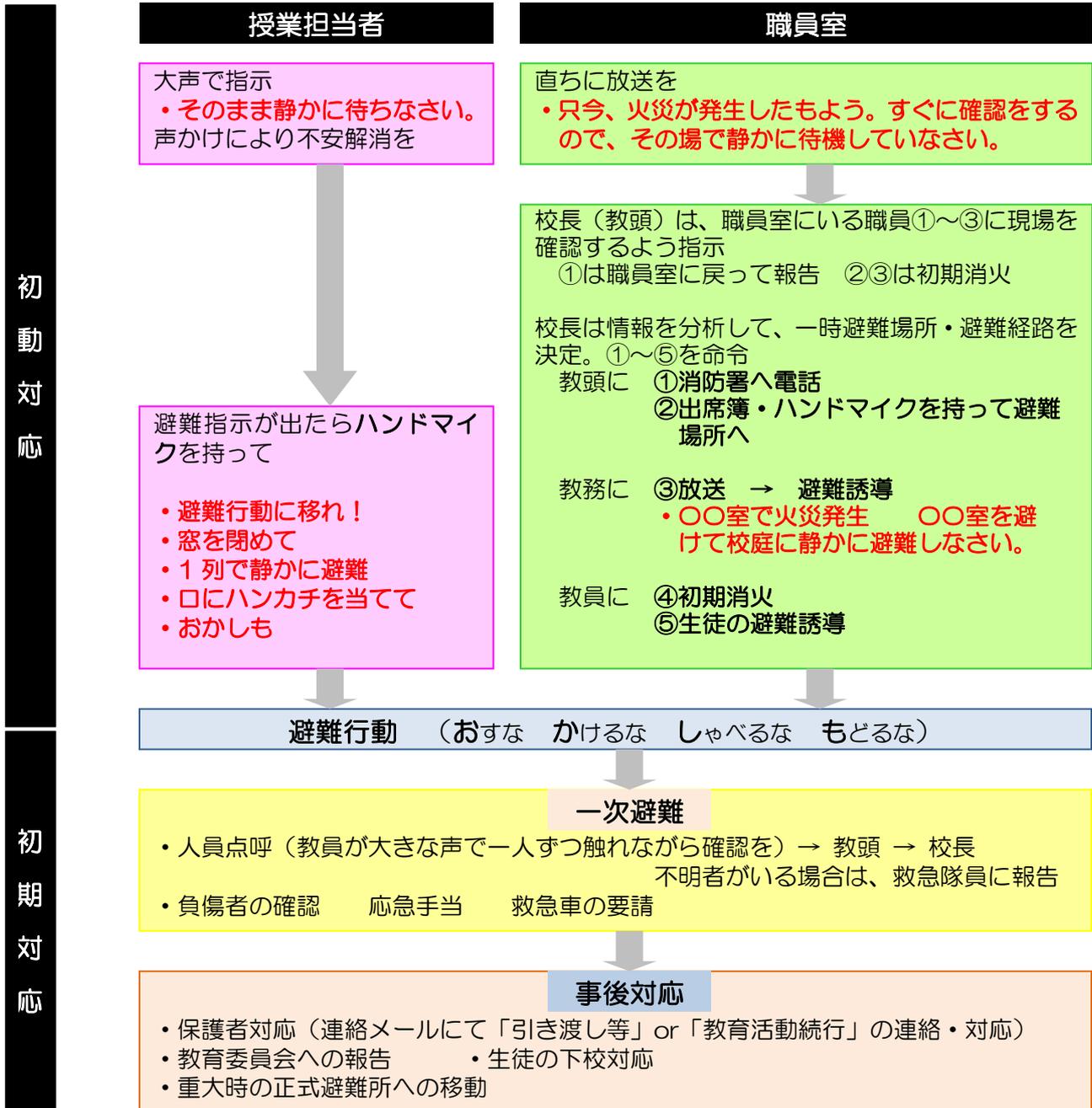
## 2 地震

### 緊急地震速報発令 あるいは 地震発生



### 3 火災

#### 火災報知器警報 あるいは 火災発見



## 4 不審者

「不審者侵入防止の3段階チェック体制」(A:校門・B:校門～校舎・C:校舎入口)

A:登校指導後の校門閉門、防犯カメラによる校門付近の24時間録画

B:来訪者への案内板表示、防犯カメラによる昇降口付近の24時間録画

C:昇降口の施錠、入口の指定(2階職員玄関)、受付での来訪者記名、

### 不審者侵入

#### 校門から教室までの間で、教職員が発見した場合

不審者発見

何か御用ですか  
(正当な理由ある場合)  
職員室へどうぞ

正当な理由なし

(危害を加える恐れがない場合)  
申し訳ありませんが、お帰りください。  
→目を離さず、校門から出ることを確認  
その後もしばらく様子を見る。職員室へ連絡

危害を加える恐れあり

少し離れたところから動向を見守る  
携帯電話・スマホ等で職員室へ連絡  
携帯電話・スマホ等がない場合は職員室へ急行

初動対応

#### 授業担当者

いきなり入ってきた場合

- 生徒を不審者から遠ざける
- ホイッスルを鳴らす
- 近づいてきたら、机や椅子で防御する

放送が入った場合

- 生徒を不審者がいる教室から遠くへ避難させる。
- 必要に応じて、教室の入口を閉めて待機する。

#### 職員室

ホイッスルが聞こえる/不審者侵入情報が入る

校長(教頭)は職員室にいる職員に ①②③を命令

- 教頭に ①警察署へ電話  
→ 警察官を昇降口から現場へ案内
- 教務に ②放送 → 現場へ急行  
・マスターキーをお持ちの先生は、〇年〇組に持ってきてください。
- 教員に ③(男性) さすたまを持って現場へ急行  
(女性) 生徒の避難誘導

不審者を見つけたら、さすまた・机・椅子等で角へ追い込んで、身動きがとれないようにする。警察官が来たら、引き渡す。

初期対応

#### 避難

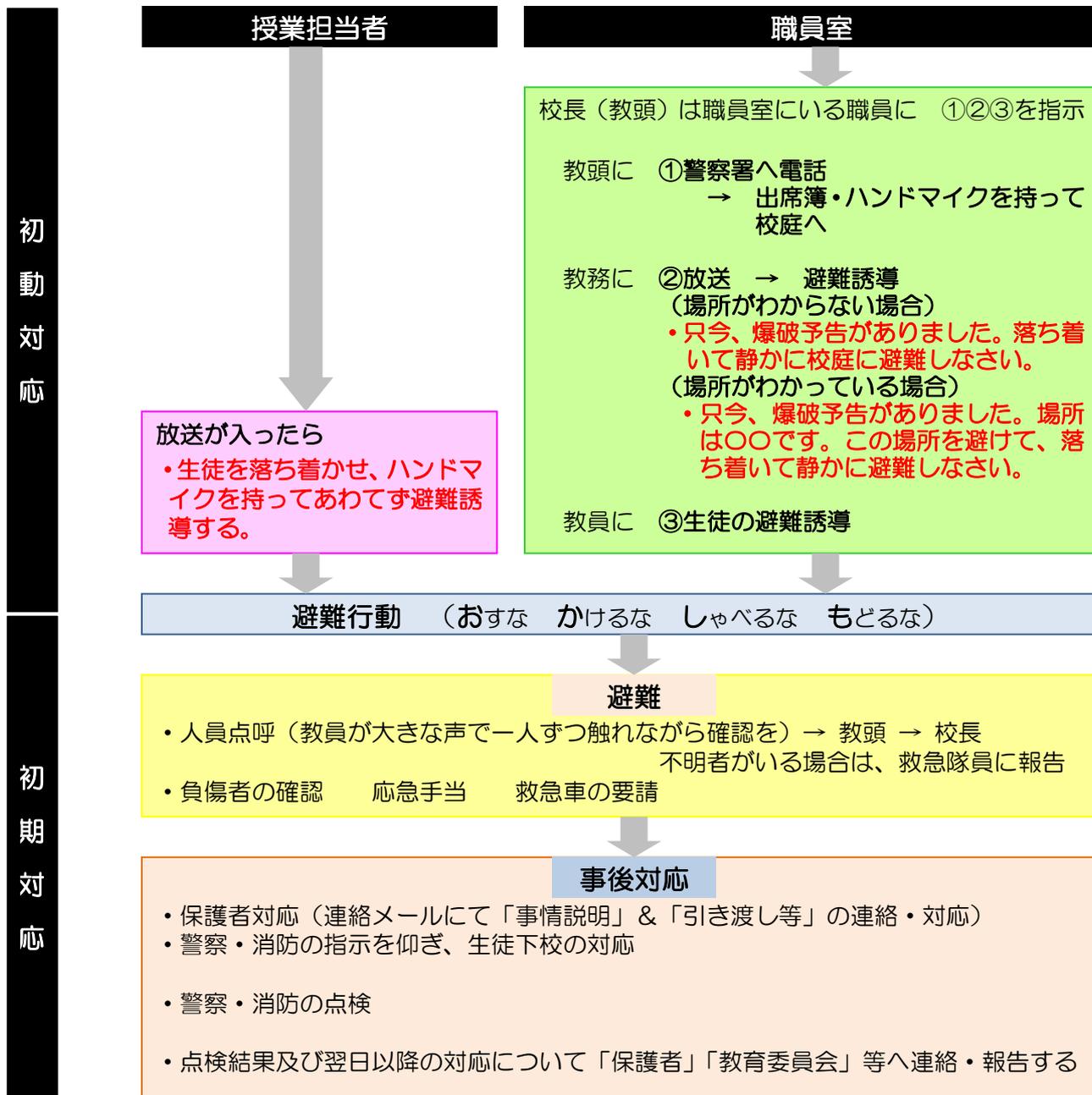
- 人員点呼(教員が大きな声で一人ずつ触れながら確認を) → 教頭 → 校長  
不明者がいる場合は、救急隊員に報告
- 負傷者の確認 応急手当 救急車の要請

#### 事後対応

- 保護者対応(連絡メールにて「引き渡し等」or「教育活動続行」の連絡・対応)
- 教育委員会への報告
- 生徒の下校対応

## 5 爆破予告

### 爆破予告の発覚



## 6 自然災害 一大雨（台風）・大雪・雷・竜巻（突風）・洪水一

事前対応

### 安全配慮義務

本校教職員は、生徒が教育活動中、あるいは教育活動を行う前に、自然災害（大雨・大雪・雷・竜巻・洪水等）が発生する予兆があった場合は、速やかに活動を中止し、危険性が去ったと判断されるまで安全な場所に避難させ、安全確保を最優先事項として行動する。

### 前日までの対応

- ・管理職は、常に気象情報を確認する。
- ・大雨（台風）や大雪等の警報が出されたり、洪水により通学路が妨げられたりするなど、予め生徒の登校に危険が想定される場合は、休校、または登校時刻の変更等を行う。その場合は、前日まで保護者へ通知文を配布、及び連絡メールを配信する。

### 当日の対応

- ・管理職は、常に気象情報を確認するとともに、雷鳴や空模様に注意する。
- ・注意報発令の有無にかかわらず、雷鳴が遠くで聞こえたり、雷雲が近づいたりするなど空模様に変化があった場合は、屋外での活動を直ちに中止し、屋内に退避させる。
  - 安全が確認できるまで学校待機とし、必要に応じて連絡メールを用いて保護者へ対応策を通知する。
- ・予想以上に雨や雪が強まり、この後も長引くことが予想される場合は、教育活動を中止し、下校とする。また、洪水等により通学路に危険が生じた場合は、教職員が安全な道路に誘導して下校させる。これからは、連絡メールを用いて保護者へ通知する。

当日対応

### 竜巻の前兆

**急に暗くなる**  
巨大な積乱雲が日射を遮り、異様な雲底により夜のよう  
に暗くなることもあります

**雷(ひょう)が降ってくる**  
竜巻(上昇流)の隣では、  
雷を伴った強い下降気流  
(ダウンバースト)が生じます

**特別な雲：アーククラウド**  
ガストフロント上に形成される  
アーチ状の積雲です(第2回  
コラムの写真2、写真3参照)

**特別な雲：乳房雲**  
他の雲にも付随しま  
すが、巨大積乱雲に  
しばしば見られます



**雷鳴が聞こえる**  
スーパーセルでは落雷  
も集中します。雷鳴、雷  
光は避難のサインです

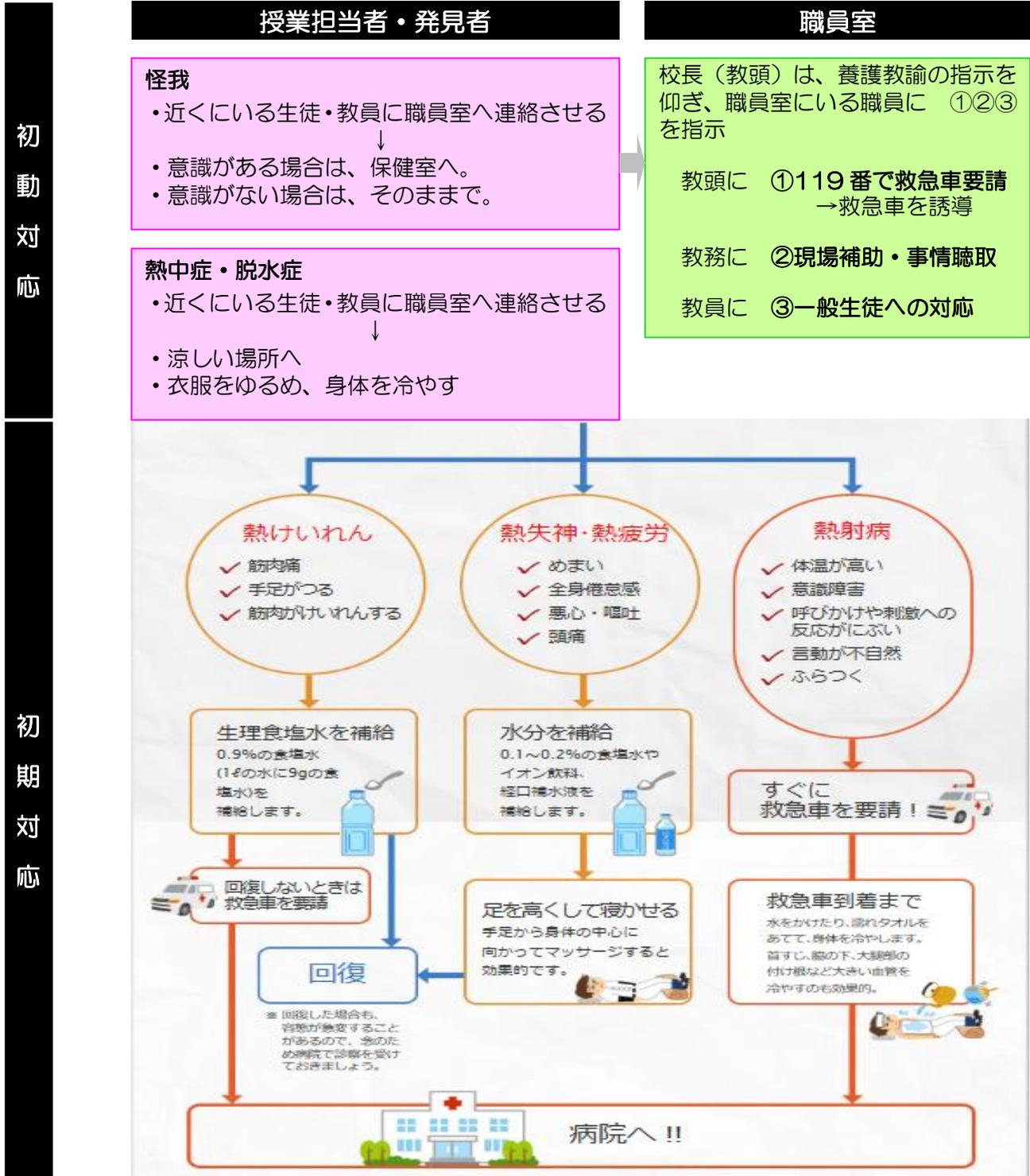
**冷たい風を感じる**  
急激に気温が下がる  
のは、ガストフロント  
通過のサインです

**藪(くさむら)や土の匂いがする**  
ガストフロント通過直前に、草や  
土、アスファルトなどの“むわっ”  
とした独特の匂いと“雨の匂い”  
を感じる場合があります

**耳鳴りがする**  
巨大竜巻の内部は数10hPaも  
気圧が降下します。そのため、  
竜巻近傍では耳鳴りがしたり、  
トイレの逆流などが生じます

## 7 教育活動中の事故（怪我・熱中症・脱水症）

### 異常の発生

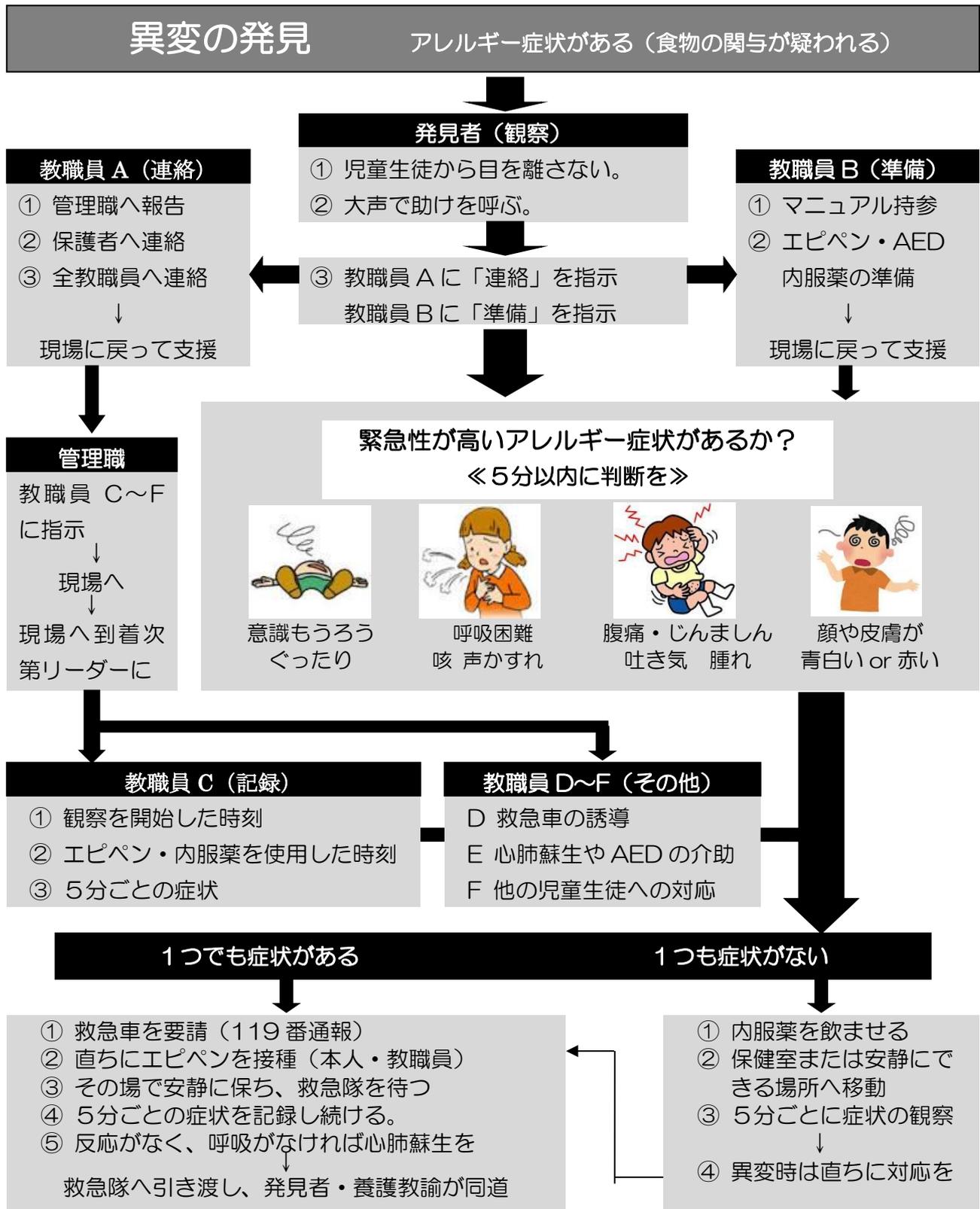


初動対応

初期対応

## 8 食物アレルギー、アナフィラキシー・ショック

5分以内に判断を 迷ったらエピペンを打つ 直ちに119番通報を



## 第4章 その他

### 1 AED

#### メッセージにしたがって 指示は大きな声で

##### ① AED を近くに置く

児童生徒の近くに置き、ケースのふたを開ける。



##### ② AED の電源を入れる

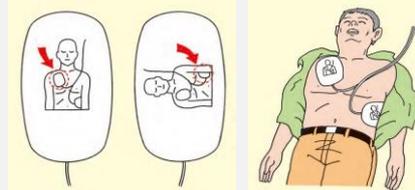
電源ボタンを押す。ふたを開けると自動的に電源が入る機種もある。



AED の指示にしたがって

##### ③ 電極パッドを貼る

衣服を取り除き、胸をはだける。電極パッドの袋を開封し、電極パッドをシールからはがし、絵を見ながら粘着面を肌にしっかりと貼り付ける。



##### ④ 心電図を解析する

電極パッドを貼ると、「体に触れないでください」などと音声メッセージが流れ、自動的に心電図の解析が始まる。「ショックは不要です」などの音声メッセージが流れた場合は、ただちに胸骨圧迫を再開する。



##### ⑤ ショックボタンを押す

「ショックボタンを押してください」など音声メッセージが流れたら、「皆さん、離れて！」と注意を促し、誰も児童生徒に触れていないことを確認した後、ショックボタンを押す。



##### ⑥ 心肺蘇生と AED を繰り返す

「ただちに胸骨圧迫を開始してください」などの音声メッセージが流れたら、胸骨圧迫を開始する。以後、AED の指示にしたがって、心肺蘇生と AED を救急車があるまで約2分間おきに繰り返す。一人では大変なので、交替で行う。



## 2 心配蘇生（胸骨圧迫）

### 強く リズムよく 絶え間ない胸骨圧迫を

#### ① 反応の確認

耳もとで「もしもし」と大声で呼びかける。  
肩を軽くたたき、反応があるかないかを見る。



反応がない → 助けを呼ぶ

#### ② 呼吸の確認

そばに座り、10秒以内で胸や腹部の上がり下がりを見て、  
普段どおりの呼吸をしているか判断します。



#### ③ 胸骨圧迫

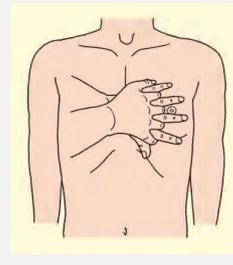
普段どおりの呼吸をしていなければ、ただちに胸骨圧迫を開始する。



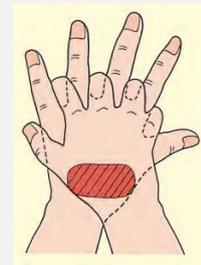
胸骨圧迫



姿勢



部位と両手の握り方



両手の組み方と  
力を加える部位



○

垂直の圧迫する



×

肘を曲げて圧迫しない



×

斜めに圧迫しない

胸が少なくとも  
5cm 沈むほど強く

1分間に少なくとも  
100回の速いテンポ

30回連続  
絶え間なく

【参考資料：応急手当講習テキスト 救急車がくるまでに（財団法人 救急振興財団）】

### 3 エピペン®

(効果は 15 分程度)

## それぞれの動作を声に出し、確認しながら行う

### 準備

- ① ケースから取り出す  
携帯用ケースのカバーキャップを指で押し開け、エピペンを取り出す。
- ② しっかり握る  
オレンジ色のニードルカバーを下に向け、利き手で“グー”で握る。
- ③ 安全キャップを外す  
もう片方の手で青色の安全キャップをはずし、ロックを解除する。



### 注射

- ① 太もも外側にエピペンを当てる  
太ももの外側に、エピペンの先端（オレンジ色の部分）を垂直に軽くあてる。エpiペンの上下先端のどちらにも親指をかけないように。
- ② 太ももに注射する（5つ数える）  
“カチッ”と音がするまで強く押しあてて、そのまま5つ数える。その後、抜き取る。



(衣服の上から可)

### 確認

- ① ニードルカバーを確認する  
注射後、オレンジ色のニードルカバーが伸びているかを確認する。ニードルカバーが伸びていない場合は、再度「準備」「注射」を行う。



### 片付け

- ① 携帯用ケースに戻す  
オレンジ色のニードルカバー側から携帯用ケースに戻す。携帯用ケースのふたは閉まらないので注意する。



【参考資料：エピペンの使い方 実践編（ファイザー株式会社）】

## 4 救急車の要請 119番通報

### あわてず ゆっくり 正確に

#### ① 救急であることを伝える

救急です。



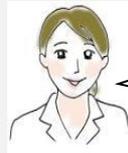
119番です。  
火事ですか？  
救急ですか？

救急です。



#### ② 救急車に来てほしい住所を伝える

久喜市本町4-1-1  
久喜中学校です。



住所はどこですか？

久喜市本町 4-1-1  
久喜市立  
久喜中学校です



#### ③ 情報をなるべく正確に伝える

だれが  
いつ  
どうして  
現在の状態は  
(エピペン使用の有無は)



どうしましたか？

中学2年生の男子  
児童が、給食を食べ  
た後、呼吸が苦しい  
と言っています。エ  
ピペンは使って  
いません。



#### ④ 通報している人の氏名と連絡先を伝える

私の名前は \_\_\_\_\_ です。  
電話番号は 21-0162です。



あなたの名前と連絡先  
を教えてください。

私の名前は〇〇〇  
〇です。電話番号  
は、21-0162  
です。



#### ⑤ 救急隊が到着するまでの応急手当の方法を聞く

到着するまでに、どのような対応  
を取ったらよいですか。



救急車が到着する  
までに、どのような  
対応を取ったらよ  
いですか。

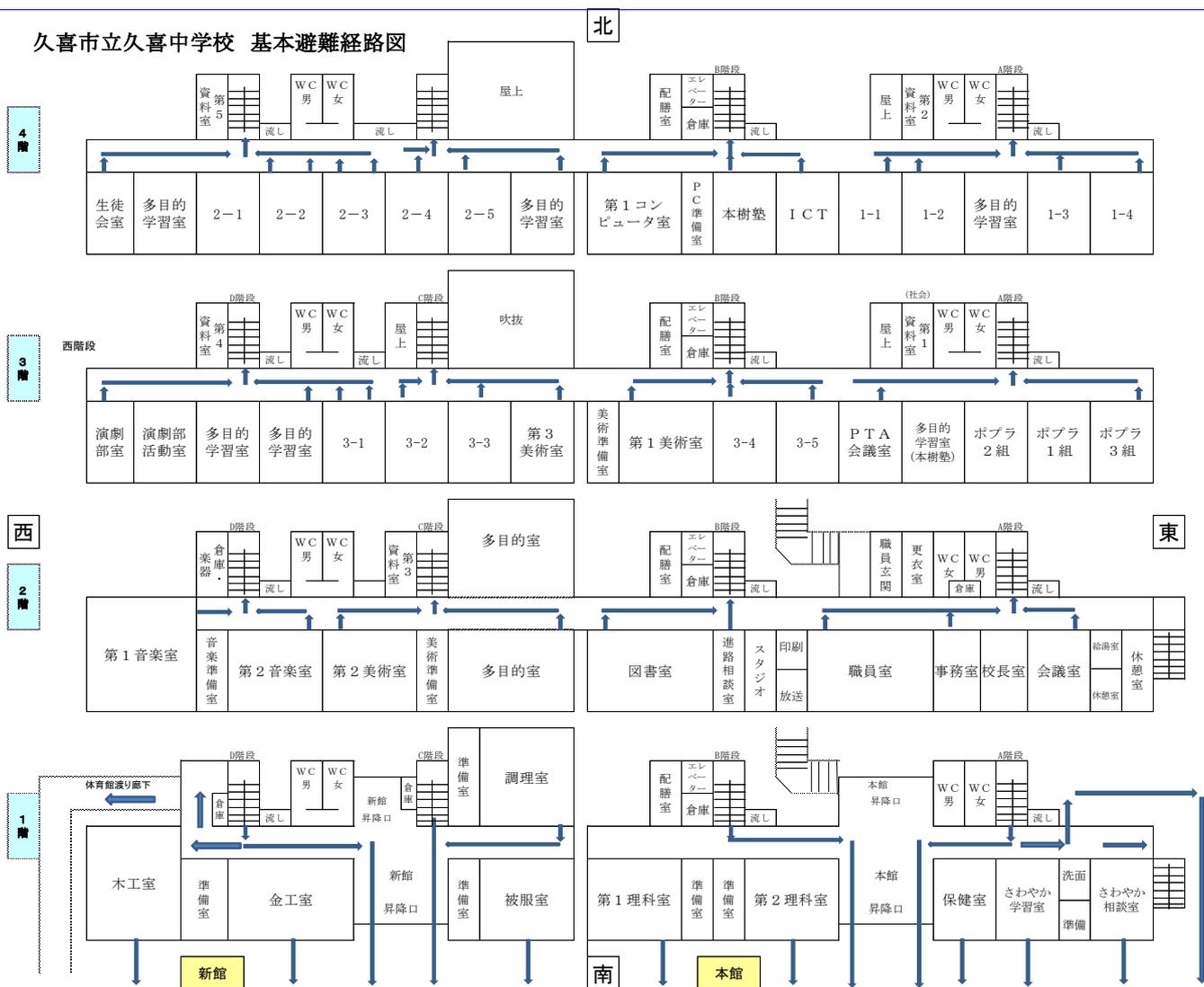
子どもさんがエピペンを持ってい  
たら、すぐに打ってください。



【参考資料：応急手当講習テキスト 救急車がくるまでに（財団法人 救急振興財団）】

# 5 基本的な避難経路

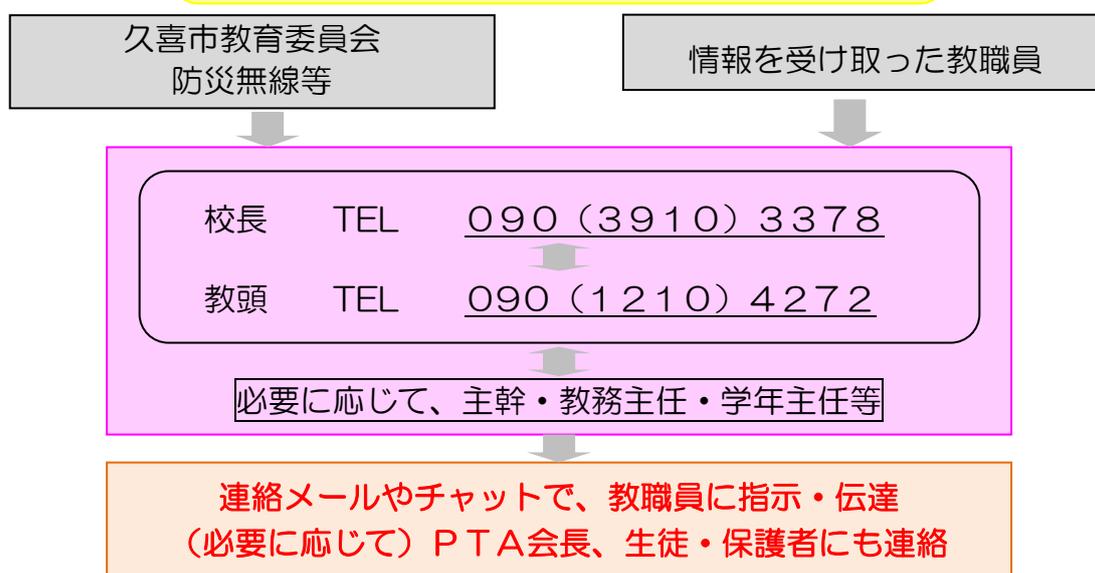
久喜市立久喜中学校 基本避難経路図



## 緊急連絡先等

機 関 名	電 話 番 号	
<b>警察</b> 久喜警察署	<b>110</b> 24-0110	
<b>救急・消防</b> 久喜消防署 久喜消防署鷺宮分署	<b>119</b> 24-0119 58-1001	
久喜市教育委員会 教育総務課 不審者情報、保健・給食 指導課 上記以外すべて	58-1111	
幸手保健所 久喜市中央保健センター	22-1101 21-5354	
整形外科	久喜メディカルクリニック	25-6555
	すすき整形外科クリニック	31-1181
	蓮江病院	21-0061
内科	おのクリニック	22-5222
	愛生会 内科・婦人科クリニック	21-0721
眼科	くき眼科	21-0037
耳鼻咽喉科	粉川医院	21-0078
歯科	ほそだ歯科	24-3337
	菱澤歯科医院	21-5369
警備保障会社 セコム	25-9522	

## 時間外の教職員間の連絡





## 埼玉県久喜市立久喜中学校

〒346-0005 埼玉県久喜市本町4-1-1

TEL : 0480-21-0162 / FAX : 0480-24-1775

E-mail : [kuki-j@kuki-city.ed.jp](mailto:kuki-j@kuki-city.ed.jp)